

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|--------------|-------------------------|---|--|
| 家計 動向 関連 (四国) | | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・乗客数より販売点数が上回っており、客の購買意欲が少しずつ上向いているのではないかと。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・11月はかなり寒い日が続いたので、秋冬物がよく売れた。 |
| | | スーパー（企画担当） | 来客数の動き | ・気温が低めに推移したことで冬物商材が上向き、客数の増加につながっている。 |
| | | スーパー（財務担当） | 単価の動き | ・付加価値のある商品が上向いて、客単価が上昇している。 |
| | | コンビニ（店長） | 単価の動き | ・競合店の出店で客数が伸び悩む中、客単価の上昇でカバーしている。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 単価の動き | ・今月は気温、天候共に恵まれ、また比較的気温も寒い日があったので、初冬物も含めて売上は好調であった。 |
| | | 乗用車販売店（役員） | 販売量の動き | ・販売台数は確保できているが利益率が減少傾向にある。一方で安全装備の標準化に伴い、車両価格が上昇傾向にある。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・地元の国体が終わり、キャンセル等の心配もあったが、結果的には良い状態となった。客も地元での宴会や会議等の利用が増えてきている。 |
| | | 通信会社（営業部長） | 販売量の動き | ・3か月前と比べて販売量が116%となったため。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・このところ早めの予約の来客が多い。 |
| | | 商店街（事務局長） | 来客数の動き | ・例年より寒い日が多く、季節関連商材は動きが良い。しかし、消費者の財布のひもは固く、景気が良いとは言えない。 |
| | | 一般小売店〔生花〕（経営者） | 単価の動き | ・高額商品の売上が良かったが、店頭の小売はあまり動かなかった。 |
| | | 一般小売店〔酒〕（販売担当） | お客様の様子 | ・今月は客足が減り、納品も減少した。消費者の財布のひもも固い。 |
| | | 百貨店（販売促進担当） | 販売量の動き | ・9～10月とも台風の影響がなければ前年並みの売上が見込め、11月は前年売上を超える見込みである。 |
| | | 百貨店（販売促進） | 来客数の動き | ・客数は増加傾向にあり、気温が急に下がったことで防寒関連品は好調であったが、高額品は想定より売れなかった。 |
| | | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・売上の下げ止まりが感じられるようになったが、依然として前年比マイナスで推移している。 |
| | | 衣料品専門店（総務担当） | 販売量の動き | ・前年を下回って推移している。後半にかけてコートを中心とした重衣料の販売が伸びたが、前半のマイナスをカバーできなかった。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・軽自動車業界においては不安定な動きをしているものの、結果的に前年比を上回り、良い方向にあるように見える。しかし、客数は前年比を下回っており、不安定にある。 |
| | | その他専門店〔酒〕（経営者） | 競争相手の様子 | ・ビールの値上りの影響で売上が悪くなっている。 |
| | | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | お客様の様子 | ・冬物がよく売れるが、景気が良くなっているという実感はない。 |
| | 都市型ホテル（経営者） | 単価の動き | ・単価が全く上がっていない。まだまだデフレスパイラルの影響があるのではないかと考えている。また、客数は増えてきているが、単価が上がってこないことで景気が良くなっている判断ができない。 | |
| | 旅行代理店（営業部長） | お客様の様子 | ・夏季商戦終了後、台風等の天候不順で秋の行楽シーズンの感覚が乏しく、一気に冬季に入った感じがする。 | |
| | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・新製品発売で販売数が増加する時期だが、伸びが鈍いように感じる。 | |
| | 通信会社（支店長） | 販売量の動き | ・年末が近づいているため、変化はみられない。 | |
| | 通信会社（営業担当） | 来客数の動き | ・個人消費が上向いてる実感がない。 | |
| | 競輪競馬（マネージャー） | お客様の様子 | ・客数、売上共に横ばいの状況である。 | |

| | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|---|
| | 設計事務所（所長） | 来客数の動き | ・今のところは、民間の設備投資の話が入ってきている。 |
| | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・店頭売上、外商売上共に前年同月を下回っている。 |
| | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・客数は前年に比べ徐々に減少している。 |
| | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・客数の減少に加えて、成約率も低下しており販売量は減っている。 |
| | 家電量販店（副店長） | 来客数の動き | ・地元の国体や台風等で来店客に影響があった。 |
| | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・今月の新車受注状況は前年比 90%の推移である。 |
| | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・地元でイベントがいろいろあったが、タクシーの利用は少ない。また、皆で飲食をしても、誰か1人はお酒を飲んでいないということもあり、飲まない人に運転してもらって帰るといったケースが多い。 |
| | x | - | - |
| 企業 動向 関連 (四国) | * | * | * |
| | 木材木製品製造業（資材購買） | 受注量や販売量の動き | ・7～9月は停滞感もあったが、10～11月は前年実績を上回っている。 |
| | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・売上、利益共に上昇してきている。今後とも安定した成長ができるもの。 |
| | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・自動車関連の金型・水門関係の鋳鋼品等の受注がやや増加しているが、主力の造船関連は低迷している。 |
| | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新規事業の新型のバイオマス発電の許認可が取得できたので、これから忙しくなると考えている。増収増益に加えて、地域貢献できると思う。 |
| | 建設業（総務） | 取引先の様子 | ・見積案件の増加。 |
| | 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・取引先企業の決算書（試算表）状況は、業種によってバラつきは見られるものの、おおむね安定している。 |
| | 農林水産業（職員） | 取引先の様子 | ・卸売市場を取り巻く環境は一進一退で、市場入荷量次第で販売環境が変わる状況が続いており、抜本的な変化は見られない。また、量販店等実需者の販売方針にも変化はみられず、新たな展開はみられない。 |
| | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・前月は全国的に天候不順であったため、店頭での消費が冷え込んでいるようである。関西や関東の観光地ではインバウンド関連で順調と聞くが、地方は厳しい状況である。 |
| | 化学工業（所長） | 受注量や販売量の動き | ・食品用途の荷動きが悪い。 |
| | 電気機械器具製造業（経理） | 受注量や販売量の動き | ・今月の販売量について、3か月前と比較して大きな増減は見られない。また、販売価格等の取引条件に関する取引先からの打診や要請等の動きもない。 |
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共事業は、地方自治体からの発注量が前年に比べ減少しており、国からの発注量は変わらない。この時期は、前年度からの繰越業務の完成、納品もあり全体としては変わらない。 |
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事が受注できたが、まだまだ足りない。 |
| | 輸送業（支店長） | 取引先の様子 | ・夏と年末の繁忙期の間で、荷動きに大きな変動がないため。 |
| | 輸送業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・大型台風の影響で、局地的に農家が被災し、収穫前の農作物がダメージを受けた事から、青果物の取扱い物量が減少しており、復調までには数か月を要す見込みである。一般商業貨物については、発送・到着貨物共に特筆すべき物量の変化はみられない事から、地方圏においては景気の低迷が長引いていると判断できる。 |
| | 公認会計士 | 取引先の様子 | ・関与先企業の状況を、試算表や決算書等で判断すると、利益の出ている企業とそうでない企業が半々の状態であり、必ずしも良い方向に向かっている判断はできない。 |
| | * | * | * |
| | x | - | - |
| 雇用 関連 | - | - | - |
| | 人材派遣会社（営業担当） | 求職者数の動き | ・紹介予定派遣では紹介料を支払ってでも良い人材を採用したいとの企業の動きがある。 |

| | | | |
|------|------------------|---------|---|
| (四国) | 人材派遣会社 (営業) | 求人数の動き | ・前月の気候と比較すると消費意欲の出る天候に恵まれている。一方、小売企業や医療介護業ではこれからの冬季経営に耐えうる人材確保に苦戦しており、人材派遣や求人広告業界の効果的な活用が必要とみられる。 |
| | 職業安定所(職員) | それ以外 | ・10月の有効求人倍率は1.53倍だが、3か月前と比べて0.13ポイント上昇している。 |
| | 求人情報誌(営業) | 採用者数の動き | ・地元中小企業の求人数は高止まりしている。それに対し、採用できている人数は少ない。このため、景気の状態は変わらないと判断した。 |
| | 新聞社[求人広告](担当者) | それ以外 | ・下げ止まり感がある。 |
| | 民間職業紹介機関(所長) | 採用者数の動き | ・製造業は求人難であるにも関わらず人間的にひっ迫したところは無く、日常の業務に支障はない。企業が求める水準の人材であれば積極的に採用する企業も多いが、人材不足による選抜基準は厳しい。 |
| | | * | * |
| x | 人材派遣会社 (営業担当) | 求職者数の動き | ・派遣求人の依頼は増加しているが、求職者の登録がなく需給バランスが悪い。 |